

ほうじん しょうがいしゃ しよくぼさんか かい だいひょうり じ すずきみさお
NPO法人 障害者の職場参加をすすめる会(代表理事 鈴木操)
さいたまけんこしがやしひがしこしがや すがびる
埼玉県越谷市東越谷1-1-7須賀ビル101 Tel・Fax 048-964-1819 職場参加ビューロー-世一緒内
E-mail shokuba@deluxe.ocn.ne.jp HP http://www5b.biglobe.ne.jp/~yellow/

公開報告交流会に150人 越谷市障害者地域適応支援事業



「障害者が地域に適応し、地域が障害者に適応すること」をめぐり越谷市の職場参加・職場実習の事業が二〇一二年度の全プログラムを終了し、三月二十六日、越谷市中央市民会館で報告交流会が開かれた。実習参加者、支援パートナー、受け入れ職場担当者、関係機関のほか関心ある市民にも公開され、他市からの参加もあった。写真は修了証の授与式。緊張しつつもうれしそう。

「東武よみうり新聞」から

「職場の体験」語る・障害者報告交流会

2013. 4.8(越谷市)

越谷市中央市民会館会議室で3月26日、「2012年度 越谷市障害者地域適応支援事業公開報告交流会」が開催された。同事業は、障害者が職場で体験実習を行い、また、就労を目指し経験を積む場として2005年度から行われ、障害者と地域が互いに適応することを目



指している。越谷市障害者就労支援センター主催。

昨年度は50人が38の職場（民間企業14、公共施設8、市役所内16）でデータ入力や事務補助、商品整理、清掃などの実習を行い、うち9人が就労した。

体験発表では「(受付で)お迎えするとき、元気よくゆっくりあいさつすることに気がつけた」、「木の枝切りで、はさみの使い方や雑巾しぼりなど学ぶことができた」など施設から一歩踏み出し多くを学んだようだ。また、実習を経て現在月1回2時間の仕事をしているという男性は「始まってすぐは緊張して質問することも大変でしたが自分から積極的に質問することができ、(今は)自分の責任で頑張っている」と話していた。

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会・山下浩志事務局長は基調講演で「“地域適応”は越谷市のオリジナル。訓練ではなく、個人を支える地域力を付けることが最大の目的である」とし「いろいろな人がいる職場をつくり、あたりまえと一緒に暮らすまちへ地域支援事業を活かしていこう」と呼び掛けた。(以上転載)

参加施設・受け入れ職場から



こしがや希望の里

実習場所：イオンせんげん台店

作業内容：カゴ・カート回収/商品の陳列・前陳

実習期間：2012.10.4～2013.1.31（全15回）

感想：たのしかった むずかしくなかった

工房きらり

実習先：越谷市障害者就労支援センター

実習日数：週1回 計12回（内3回は単独実習）

実習時間：13:00～15:00

行ってみた感想：始まってすぐは、緊張して職員に質問することも大変だった。最後の方になると、積極的に質問をすることができた。自分が考えていること、意識している部分が周りとは違うことに衝撃を受けた。(1、2ミリのずれが気になる。指示は職場からすべて言ってくれるなど)

パートナーから：一人で作業を行うことが可能のため、パートナーとしてうまいタイミングでフォローすることが課題でした。単独実習を終えた後は、自分から職場のスタッフに質問しに行くことができていて驚きました。また、自分から意見を述べることもできた為、実習後活動につながったと思います。

実習後について：本人から職場に「ここで働くことは可能でしょうか？」と直接相談があり、実習終了後は、月1回の2時間の仕事を就労支援センターですることが決まりました。内容は実習で行ったことと同じです。今度はパートナーがいないので、自分の責任で頑張っていきます。

地域適応支援事業の報告交流会では、初めて公開で開催した昨年を上回る147名の参加者が集まりました。

写真のような報告パネルを各施設単位で作成し、会場に展示し自由に見ていただきました。

また、その場でも、実習者や施設等の支援パートナー、受け入れ職場担当者から報告・感想を述べていただきました（写真は千草園の実習者による報告）。パネル、報告の一部を紹介

野の花

実習場所：さいたまコープ北越谷支店

作業内容：商品の陳列

実習期間：2012.10.3～31（全5日間）

実習時間：13:00～14:00

感想：1時間立ちっぱなしは大変だったけど、ふだんのお仕事とは違う経験が出来たので良かったです。

反省点：商品を並べるお仕事だったので、職場の方々とコミュニケーションをとる時間がなかったのが残念でした。同じ仕事が続くので飽きてしまい、声をかけないと行わないことがあった。

新しく実習受け入れ職場となった越谷市職員組合は、事業終了後も引き続き仕事を確保し、有償で働いてもらおうと報告していました。



今年度は地域適応支援事業の実習後に就労した人の数が過去最多の9人になりました。就労を前提としない実習ですが、ハードルを下げてさまざまな職場に入ってゆくことで、月1回からでもいろんな障害の人が地域で共に働く状況をきりひらければと思います。



グループワークから拓く社会

当会が公益財団法人埼玉県公園緑地協会から業務委託を受けている花壇管理のグループワークが、今年も大型連休をはさんで行われた。就労準備中の障害者や入所・通所の福祉施設や精神科病院デイケア等の利用者・職員がワークシェアする形で行っているもの。

このグループワークは年々人気上昇している。5月9日の作業は8施設・42人（職員含む）という過去最高の参加。青空の下、マリーゴールド、サルビア、ペコニアなどの移植を行った。

人気の秘密は…野外でさまざまな仕事が同時並行であるため、施設ごとで動きやすい。就労準備中の障害者がピアサポーターとしてあちこちに入れる。その結果、施設の枠を超えた動きができる。毎回参加する顔ぶれもあり、段取りを心得ていたりする。棒立ちで花壇に手を出さないでいる人もいることが、むしろ参加者の緊張をほぐす役割もはたしている。自分の働きで生き物が育ち花が咲くという充足感。そしてなんといっても最低賃金に近い「配分金」（労働契約でなく職場体験だから賃金ではなく施設等への配分金）だろう。

下は毎回必ず行う反省会。全員が一言（代弁も）。晴れやかな笑顔になる。この後各施設から代表1名ずつで公園管理事務所に「報告」に行く。

グループワークを通して当会がめざすのは、施設内での支援だけでなく職場・地域での支援ができる施設へということ。ここでの試みを生かし、多様な就労と自立生活を切り開き支える事例を増やそう。

現在、施設外就労への準備中の施設がある。また昨年より越谷市障害者地域適応支援事業の実習を経て実習先企業への超短時間就労の事例も積み重ねられている。

さまざまな機会をとらえ、地域社会と切り結ぼう！



今までの事

世一緒スタッフ 新井 孝治

私の家族は5人家族です。両親は健在です。三人兄弟姉妹であねが二人います。長女は看護師です。次女は北越谷病院で介護ヘルパーをしています。長女の次女は結婚して家からでていきました。長女の子供は男子ふたりいます。長男は旭化成で働いています。最近建築士の2級取りよろこんでいました。

次男は看護師で結婚して子供が女子が二人います。今年の正月に実家につれて来ました。6才と3才です。おとし玉をあげました。けっこう姉のほがかしこいなと思っています。

次女の子供はお母さんの仕事を見て看護師になりました。現在は南越谷病院で働いています。私は生まれたのは、昭和40年7月8日生まれて夏に生まれました。子供の時は6才までは祖母に育てられました。

小学校に入学すると、友人ができて毎日朝早くから学校にかよっていました。小学校三年生の時に担任の先生に書道コンクールにだす課題だされかきました。みごとに全国の農協しゅさいのコンクールにて佳作に入選しました。それいらい書道に興味を持ってかきぞめで色々な賞をもらいました。中学生に入り剣道部にはいり一年生の時からめをつけられていました。

二年生の時に顧問先生に個人戦にでろといわれました。越谷市でベスト8に入り県大会では2回戦で負けてしまい新人戦からの主将に成り力をつけて県でベスト8に入りました。特待生で高校に入学めだたない存在でした。

高校卒業で自衛隊にはいり体重が五六キロしかなかったです。初めは朝霞に7年働いていました。若かったからできたと思います。試験に合格1階級があがりました。給料もあがって静岡県御殿場3年働いていました。

精神面生活面についていけなく成り自衛隊をやめようとしてしんしました。平成七年二月二三日に退職して、半年ぐらい自宅にいました。

そのあと病気が前からでてきました。姉からの紹介で順天堂病院でお世話になり、一八年お世話になり今現在があります。

ダイケアにかよいながら世一緒にかよいながらこれからも社会への一歩ふみ出していこうと思いません。

最近のこと

世一緒スタッフ 新井 里佳

最近では家の家事をやっています。洗いもの、洗たく、料理、そうじをやっています。最近では、世一緒の人たちとお茶をしたりしています。

私は今、木曜日お当番、火曜日絵日記の旅、金曜日手話会に参加をしています。木曜日世一緒のお当番をがんばってやっています。電話対応、来客対応、お茶出しをやっています。最近いろんな人が来ます。自己しようかいをしています。火曜日絵日記の旅に参加をしています。買い物に行ったり、予定をきめたり、公園でお昼を食べたりといろんなことをやっています。

金曜日手話会に参加をしています。手話を一生懸命おぼえようとしています。

最近家は帰るとたまに仕事が休みで母がいるので会話をしています。

最近では、水上公園の作業をやりました。ひりょう、草とりやりました。がんばりました。かつぽ販売にも参加をしました。私は声かけをたくさんやりました。あんまり人がこないときもありました。また、参加したいです。

私の過去について

世一緒スタッフ 田辺 雄太

私は、仕事を転々としていたのですが、中々自分にあった仕事がなく一年続かなかったです。

その時に越谷就労支援センターにおじいちゃんと一緒にきました。そこで、世一緒と言うところがあるから行ってみたらと言われて行くようになりました。それで世一緒に行つてからは、求人広告のチェックをしたり仕事発見ミッションに出かけたりもしました。

そのある日に支援センターから委託訓練があるよと話しをもらいましたが、自分の場合は、だいぶおそい委託訓練でした。訓練をした職場は、GOVリテリングと言うアパレル会社の仕事の訓練をしました。訓練がおわつてからは、店長さんやみなさまのおかげでアパレル会社ではたらくことになりました。

それで、売場に出て接客をしたりなどをしていました。唯一楽しかったなと思う仕事は、アパレル会社ではたらくたことですね。

アパレル会社の中では、スタッフさんとも話しをしたりとかのみに行ったりとかをしたりしてました。仕事もたのしかったです。一年しかもたなかつたですけどよかつたなと思いました。



近況報告

世一緒スタッフ 富樫 千亜紀

順天堂越谷病院デイケアでの友人と連絡をとりあったりしてますが、近況という近況は、つい3週間前に妹が結婚をして、妹の家で母の誕生日をやりました。

母は62歳になりました。妹の夫はポラス・インテックスという会社で1都3県で営業やっています。妹の手料理は上手いです。家族8人で妹の家に行ってパーティーをやりました。話は変わるけど自分も家事をやっています。

精神の病気があって早く治らないんだらうってよくよく考えたりします。早く治りたいです。

世一緒では、ピアサポート研究会とか、かつぽ販売も参加してありますがピアサポート研究会では、いろいろなテーマで語ったり、又、かつぽ販売では、温かい飲み物、冷たい飲み物、アイスクリーム、クッキーに、お菓子、チョコレート、ホルズも販売しました。(飽)クッキーだけ売れました。あまり、売れませんでした。今度は頑張って売ろうかと思いま

記念シンポジウム

「福祉と雇用を分ける壁と県庁で向き合ってーアンテナショップかつぽ大研究」

5月26日(日) 13:00~16:00

会場:埼玉県大宮合同庁舎
(さいたま市大宮区 吉敷町 1-124 大宮駅東口下車 新都心方面へ徒歩15分)

主催:(社)埼玉障害者自立生活協会
(代表理事・坂本さとし)

連絡先:080-6608-1275(植田)
048-737-1489(黄色い部屋)

ロテンやっています

世一緒スタッフ 黒田 正巳

今は、ちゃんとした仕事はしてないですが、祭りがある時、ロテンで金魚のバイト、学校の運動会がある時は、カキ氷やっています。

どうして、そのバイトをやる事になったかと言うと、前から好きでよく祭りがある時は、いつていて、店やっておやかたがよく自分事みかけて、たまに、平成十年に北越谷の桜祭りで見かけてこえをかけてくれて、ロテンのバイトをやらなにかと言われて、いろいろ話して、やりますと言ひ、バイトある時は、れんらくするからたのむよと言われました。

それから、祭りの店のバイトある時はやるようになります、さいしよはなれるまでは大変でしたが、バイトもきつい時もありましたが楽しくやっています、なれてくるにつれて、きてくれたお客さんに金魚のすくいかたおしえてやったり話したりしていくにつれて、自分の顔おぼえてもらい、祭りがいいであった時も子どもは、金魚かのおじさんとこえをかけてくれたり、祭りで店出た時は、よそでもやってなかつたですかと言われたりしました。

学校の運動会がある時は、カキ氷出しましたが、さいしよはなれなくて、れんしゅうていどでやりました、なれて一人で出せるようになったらまかさせられてやっていますがあつし、キカイで出来なるところは、手でやらないといけないから大変でした。

正月は、三十一日から三日まで神社であまぎけうりしてます。めんきよの事言われて、病気で、てんかんだからと言ったほんとうはめんきよもってたほろが、よそであった時にどうもって一人でいってもらえるのと言って、その時はじめて、障害者ある事言いましたが、やとつてくれて、よそでも祭りがある時は、おやかたがトラックでつれていってくれています。自分はいいい人としりあつてよかつたです。

2013 年度総会・記念シンポジウム

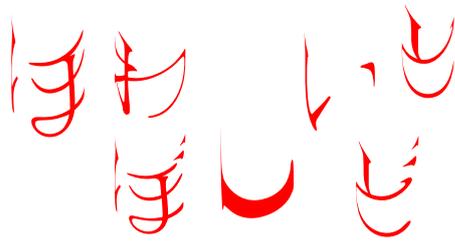
6月16日(日) 13:00~14:00 定期総会
14:00~16:30 記念シンポジウム
会場:越谷市障害者就労訓練施設 しらこぼと

〒343-0011 埼玉県越谷市大字増林 5830 番地 4 Tel:048-965-6541 Fax:048-960-5518

越谷駅東口より朝日バス 増林バス停下車

詳細は次号で





当会の事業インフォメーションあれこれページ。(左の絵「Coboy Junior」は兵庫県の多賀健太郎さんからいただきました。)

▶本部事業

●世一緒は未就労の障害者が電話番をしています

本部事業の拠点である「職場参加ビューロー・世一緒」は、専従職員がいません。月～金の10:00～16:00は、就労支援センターの利用者等の中から希望者を募り、職業体験の一環として、日替わりで電話番や掃除、来所者への説明、印刷・製本などの日常業務を担ってもらい、若干の謝金または実習手当を支給しています。

このほかにボランティアやアルバイトのサポーター、当事者ファシリテーターがいますが、いない時間もあります。世一緒に来所や電話をされる時は、お手数ですが、できるだけわかりやすい言葉で、短く、ゆっくりお話いただければ幸いです。

ここは公的機関ではなく当会のインフォメーションセンターです。ご予約なしで通りがかりにお立ち寄りいただいてもかまいません。要領を得ない説明をするかもしれませんが、お時間があればその都度ご質問いただきながら説明させていただければと思います。さまざまな人々が会おうための社会実験の場として開設しています。

●世一緒の活動にお試しで参加してみませんか

世一緒は、誰もが役割を分かち合っくらす社会をめざして、仕事や社会参加にチャレンジする場です。当番のほかにも、求人広告を自分達でチェックしたり、商店街や工業団地に出かけて行って、職場見学をさせてもらったり、市民まつりなどに店を出したり、時々小さなアルバイトをしたりしています。毎日通う場ではなく、指導員もいません。先輩障害者や家族やその他のメンバーが、一定の応援はしています。利用料は不要。あなたも試しに参加してみませんか。

▶委託事業

職員の数が限られ、職場や関係機関へ訪問することも多いため、予めお電話をいただき、調整させていただければ、十分な時間をかけたお話ができます。特に下記のガイダンス、セミナーは事前に電話等でご連絡をお願いします。

●就労支援センターガイダンスが、6月11日(火)、7月10日(水)(いずれも10:00～12:00)、8月はお休み。セミナーが、5月14日(火)、6月13日(木)、7月18日(木)(いずれも13:00～16:00)に開かれます

ガイダンスでは、個別相談だけでは十分にお伝えしきれないセンターのさまざまな活用方法について、わかりやすくご説明します。そのときどきの旬の情報もお知らせします。

疑問・質問にもお答えしますので、何度でもご参加ください。

セミナーは、毎月テーマを決めて、ワークショップ形式で行います。

会場はいずれも原則、産業雇用支援センター4階です。

●2012年度に就労した方々

- 知的障害 20名(食器洗浄、清掃、青果袋詰め、品出し、盛り付けほか)
- 精神障害 23名(事務、事務補助、冷蔵庫内作業、店内管理補助、清掃ほか)
- 身体障害 5名(事務、印刷管理、送迎ほか)

(なお2011年度は、知的30名、精神8名、身体5名でした。)



当会の目的

この法人は、地域の事業所、福祉施設、学校、在宅障害者と家族、市民に対して障害者の職場参加活動を啓蒙、普及、促進する事業を行い、障害者の多様な働きかたの実現をめざし、労働と福祉の障壁の解消を図るとともに、共に育ちあい、働きあい、暮らしあうまちづくりを通して、もって地域社会の発展に寄与することを目的とする。

(定款第3条)

当会の事業

- ・特定非営利活動に係る事業
- 職場参加の基盤形成のための支援事業
- ・福祉施設等の職場参加に関する協力関係の促進を図る事業
- ・障害者の就労・生活支援のための資料収集と情報提供に関する事業
- ・啓蒙と地域の輪を広げるための勉強会等を開催する事業
- ・国、自治体に対して施策を提言する事業
- ・協力事業所の開拓に関する事業 (定款第5条)

会員募集

障害者の職場参加をすすめる会では趣旨に御賛同いただける方を常時募集しています。

正会員

年会費 3,000円

賛助会員

個人年会費 3,000円

団体年会費 5,000円